

第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

奈良教育大学 教育発達専攻 特別支援教育専修 3回生 227405 才田 優佳

1. 単元名 過去と未来をつなぐ 武庫川

2. 単元の目標

- ・武庫川の昔の地図や資料などから、昔の様子を理解することができる。 (知識及び技能)
- ・武庫川が昔から守られてきた様子を年表やポスターにまとめ表現し、昔の人たちの思いや努力を伝え
ている。 (思考力・判断力・表現力等)
- ・武庫川の昔の様子と守られてきた歴史を知り、今ある当たり前に気づき、その当たり前に感謝し、そ
の気持ちを伝える行動ができるようになる。 (主体に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1)教材観

本単元は、兵庫県に流れる「武庫川」について取り上げる。武庫川は江戸時代頃から治水工事が行われ
てきた。また戦後には河川敷にある松の木が戦前以来に再び植えられ、現在では地元の人たちの憩いの
場となっている。本学校の児童にとって、マラソン大会や清掃活動などで普段から関わる身近な場所
であり、自分事化しやすい教材である。このように身近にある武庫川の歴史的背景や昔の人たちの苦
労について知ったり、どのような思いで守ってきたりしたのかを考えさせることができる。更に、今
ある武庫川の姿は昔の人たちの力によって存在している。身近にある当たり前のことが当たり前で
なく、多くの人々の力によることに気づかせられる教材である。

(2)児童観

本学級では、休みの日にスポーツをしたり、家族でピクニックをしたりするなどして、授業外でも
武庫川と身近に関わっている児童が多くいる。また武庫川の近くに住んでいる児童も多くため、
洪水など水害時への不安を感じている児童もいる。このように身近な存在であるため、興味を
持ちやすく、学習に対して意欲的に取り組むことができるだろう。更に学校外で武庫川と関
わる際には、家族や地域の人などと一緒に関わることから、プレゼン発表をする際にも
武庫川で一緒に関わっている人たちに対して、自分たちが学んできたことを積極的に伝えたい
という思いを持って取り組むことができるだろう。

(3)指導観

本学級の児童は、第6学年になるまでに地域に関する学習で、武庫川について学習している。
その際に、武庫川の歴史については少ししか学習していない。そして本教材では、昔の歴
史的事実と関連させながら、実際に武庫川が復興してきた様子を感じさせる。実際の地図
や写真、資料を見たり、地域のボランティアの方の話の聞いたりすることで、武庫川
の昔の様子をよりリアルに想像させ、自分事化を促す。また身近な人たちに発表し、
伝えることで初めて知ってもらえることで、言葉で伝えることの大切さを感じさせ
る。加えて、武庫川のように当たり前にあるものが、当たり前ではなく、人々に力によ
ってできた有難いものであることに気づかせる。そして児童の身の回りの当たり前のこ
とが人の力による

ことだと気づかせ、その感謝の気持ちを知ってもらえるように、言葉で伝えさせる。

児童にとって武庫川は身近であり、取り組みやすい教材であると考え。そのためできるだけ多くの児童が活躍できるようにしたり、できる限り児童の意見を参考に進めたりしながら、児童の持った興味や関心を援助しながら指導したい。

(4)ESD との関連

○本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

- ・相互性…昔の人たちの努力によって、今の武庫川が守られていることから昔から今が繋がっている。
- ・公平性…世代間・世代内での繋がりによって現在の武庫川が存在しており、今後の武庫川のことを考え、下級生や地域の人たちへ武庫川が守られてきたことや今を生きる私たちも武庫川を守っていく存在だと伝えている。

○本学習で育てたい ESD の資質・能力

- ・多面的・総合的に考える力（システムズ・シンキング）
…歴史的な背景や地域の出来事など様々な事実を踏まえて、様々な角度から武庫川の歴史を考える。
- ・つながりを尊重する態度
…武庫川がこれまで守られてきており、昔の人たちの努力があるから今の武庫川があり、過去と昔は繋がっている。このように今の私たちの行動によって未来とも繋がっている。
- ・クリティカル・シンキング
…今の武庫川がこのような状態でいいのかについて批判的に考える。

○本学習で変容を促す ESD の価値観

- ・世代間の公正 …過去の人々によって守られてきた武庫川を、今後も守り続ける。
- ・幸福感に敏感になる。幸福感を重視する。
…昔の人たちの努力で今の武庫川があることを知り、今ある武庫川が当たり前ではないと分かる。

○達成が期待される SDG s

- ・目標 6 安全な水とトイレを世界中に
- ・目標 11 住み続けられるまちづくりを
- ・目標 15 陸の豊かさを守ろう

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力等	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 武庫川の昔の地図や資料などから、昔の様子を理解している。	① 武庫川が昔から守られてきた様子を、年表やポスターにまとめ表現し、昔の人たちの努力や思いを伝えようとしている。	① 武庫川の昔の様子と守られてきた歴史を知り、今ある当りに感謝し、その気持ちを伝える行動ができるようになる。
② 武庫川の昔の様子と歴史的背景や地域での出	② 昔の人たちの思いや努力を	② ポスターやプレゼンの発表で学

来事との繋がりについて分かる。	想像したり考えたりして文章に表現している。	んだことを伝えようとしている。
-----------------	-----------------------	-----------------

5. 単元の指導計画(全 20 時間)

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価 (△)
1	○武庫川について知っていることや日常生活の中での関わりについて発表する。 ○武庫川が日常生活の中で、どのような関わりをしているのか考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・第6学年までに武庫川について学習してきたことを振り返らせる。 ・副読本を使って調べさせる。 ・武庫川についてどのように思っているか話し合い、展開に目を向けさせる。 	
2	○武庫川の昔の様子について予想し、昔の写真や地図を提示し、武庫川の様子について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の武庫川の様子と比較したり、現在の場所から推測したりしながら昔の様子について考えさせる。 ・写真のような状況であった理由について考えさせる。 ・昔の地図と今の地図を比較し、なぜ工事が行われ、現在の様子のように変わったのかについて考えさせる。 	△ア①
3 4	○昔の資料から昔の武庫川の様子について知る。 ○水を守るために「身代わりに処刑を志願した十三歳の少年」から当時の様子や気持ちについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み取らせ社会科での学習と重ねながら、時代背景について考えさせる。 ・武庫川を守ってきた昔の人たちの思いを知り、当たり前ではなかったことに気づかせる。 ・同じくらいの年の人の話を聞くことで自分事化させやすくする。 	△ア① △イ②
5 6	○市役所の文化財課の方に、昔の武庫川の様子について聞く。 ○前時で聞いた情報をまとめ、感想を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・可能であれば実際に武庫川に足を運び、より自分事化させる。 ・できるだけ普段あまり発表をしない児童にも発表する機会を与える。 	△イ②
7 ～ 12	○時代ごとに分け、社会科で学んだことを踏まえて、武庫川の年表を作成する。 ○児童がよく関わることとなる河川敷(松の木や芝生広場など)が時代とともに作られてきたことを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・年表にまとめる際には、武庫川の変化と時代背景や地域の出来事などとの繋がりについて分かるようまとめさせる。 ・時代によっての変化が分かりやすい「水路」や「松の木」の観点も入れてまとめさせる。 	△イ①
13	○作成した年表を発表し合い時代ごとの年表をつなぎ合わせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・時代ごとの流れが分かるようになり、武庫川が昔から今日まで守られ続けてき 	△ア②

	○そこで気づく学びや時代ごとの繋がりについて分かったことや感想を発表する。	たことを再認識させる。 ・武庫川の魅力は、地域の憩いの場となっていることに気づかせる。	
14 15	○年表を踏まえて、プレゼン発表の資料やポスターを作成する。	・年表を作ったのだけではなく、地域の人たち全体でこの先も武庫川を守り続けていこうと思ってもらえるように、他の人たちにも伝えたいと思わせる。	△イ①
16 17	○プレゼンやポスターで下級生や地域の人に発表し伝える。	・下級生や地域の人たちにも武庫川が守られてきたことを伝えることで、自分たちも武庫川を守っていく一員であることを再認識させる。 ・下級生にも分かりやすく伝わるような工夫を凝らすように促す。	△ウ②
18	○プレゼン発表をした感想や、プレゼンを聞いた人の意見を出し合い、まとめる。	・他学年の児童や地域の人へ伝え、発表を聞いた人たちから感想を聞き自己有用感を高めさせる。	
19	○昔の人が武庫川を守ってこなかった時の様子を想像し、今ある当たり前に気づく。 ○当たりの今は当たり前ではなく、有難いことであることに気づく。	・昔の人によって復興されず現在まで守り続けてこなかったら残っていないことに改めて気づかせる。 ・当たり前のことについて普段考えることがないことを確認し、身の周りの生活に目を向けさせる。	△ウ①
20	○身の周りがある、当たり前だが有難いことを考え、感謝の気持ちを伝える。	・メッセージカードを用意し、当たりの生活を支えてくれている人に感謝し伝えられるようにする。	△ウ①

指導：井阪愛子（平群町立平群中学校）

【参考文献】

- ・【武庫川】武庫川 水と親しむ | 西宮市ホームページ (nishi.or.jp) (最終閲覧日 2025/01/17)
- ・6. 「命は知らない 水をくれ」 | 一般社団法人にしのみや観光協会 (nishinomiya-kanko.jp) (最終閲覧日 2025/01/17)
- ・【武庫川】万国博覧会ゾウの行進 (昭和 45 年 8 月) | 西宮市ホームページ (nishi.or.jp) (最終閲覧日 2025/01/17)